

学校での取り組みを紹介します

「郷土への誇りと愛着」の育成

● 南牧村立南牧小学校



道の駅オアシスなんもくて村の特産品について学習する児童

5、6年生が南牧村の魅力について紹介するリーフレットを作成しています(表紙写真)。修学旅行で東京に行った際に、ぐんまちゃん家の前でそのリーフレットを配り、村の魅力を多くの人に伝えています。
リーフレットを見て、実際に村を訪れてくださった方もいました。

● 渋川市立北橋中学校



古代行列に参加する生徒

北橋地区で毎年開催されている「たちばな古里まつり」で、3年生が地名の起源となっている橋山伝説にちなんだ古代行列に、2年生が出店やイベントのボランティアとして参加しています。
この活動を通して、地域の一員として、地域を愛する心を育てています。

「キャリア教育」の充実

● みなかみ町立新治小・中学校

新治中学校では2年生になると、地域にある事業所に協力をいただき、5日間の職場体験「チャレンジウィーク」を行っています。

地域での職場体験は、地域の産業やそこで働く人たちの素晴らしさを発見したり、ふるさとの誇りと愛着を持ったりすることにもつながる、貴重な機会となっています。

また、職場体験を終えた2年生は、体験の内容をまとめ、1年生や新治小学校の6年生に向けて発表を行っています。発表を聞いた後輩たちにも、将来について考える機会となります。

★チャレンジウィークの取り組み★

事前学習

職場体験

発表会



自動車整備工場での職場体験



体験の後輩たちへ発表する生徒

高校生になったら「インターンシップ」に参加してみよう

普通高校・専門高校を問わず、誰でも参加できます！

インターンシップとは、一定期間、企業や事業所などで実際に仕事を体験することで、社会や職業に対する認識を深め、自己の将来や学ぶことの重要性を考える取り組みです。また、体験を通じて、県内の企業を知る機会にもなります。

県教育委員会では、より多くの高校生にインターンシップに参加してもらえるよう産業界と連携するなどして、環境整備や体験内容の充実に取り組んでいます。



県立館林高校

希望した生徒が夏休みに地元企業(化粧品の製造会社)のインターンシップに参加しました。

受け入れてくださった企業の方、参加した生徒にお話を聞きました！



企業でのインターンシップ体験

▶ 受け入れてくださった企業の方の思い

「社会で活躍できる人材の育成」という観点を持って、受け入れています。社会に出てから必要なことを、実習を通してお伝えし、仕事の厳しさなどについても理解していただくようにしています。

▶ 参加した生徒の感想

- 化粧品を製造するだけでなく、周囲との連携が必要なことが多々あり、コミュニケーションの必要性を痛感しました。コミュニケーションを取る機会があるときには、自ら話し掛けられるよう頑張りたいです。
- さまざまな体験をさせていただくことで、自分の価値観に気付き、協調性や社会で必要なことなどを学ぶことができ、人として成長できた3日間でした。

コラム 2

子どもの将来に役立つ家庭での取り組みの例

子どもたちが「郷土への誇りと愛着」を持ち、将来、自立してたくましく生きていく力を育てるために、家庭でできる取り組みの例を紹介します。



- お子さんと県内各地の名所を巡ってみる。
- 自分の仕事のことについてお子さんに話してみる。
- お子さんとのコミュニケーションを大切にする。
- お子さんが将来自立できるよう、基本的な生活習慣やマナーなどを身に付けさせる。